

令和7年度

横浜市交通安全対策協議会

総会資料

横浜市交通安全対策協議会

目次

○令和7年度横浜市交通安全対策協議会 交通安全運動等実施報告 …	1 ページ
1 各季の交通安全運動・強化月間実施結果 ……………	1 ページ
2 世代別の交通安全啓発 ……………	3 ページ
(1) 幼児	
(2) 小学生	
(3) 中学生・高校生	
(4) 高齢者	
(5) 一般向け	
3 その他の活動 ……………	11 ページ
(1) 踏切の交通事故防止	
(2) 横浜市交通安全対策会議における決定事項を踏まえた取組	
(3) 横浜市交通安全功労者表彰式	
4 令和7年度交通安全対策事業の各区の取組について ……………	12 ページ
○委員の皆様よりお寄せいただいた取組事例の紹介 ……………	21 ページ
○令和8年度横浜市交通安全運動実施計画 ……………	30 ページ
○参考資料	
資料1: 横浜市における交通事故の状況等(令和7年) ……………	34 ページ
資料2: 横浜市交通安全対策協議会会則 ……………	36 ページ
資料3: 横浜市交通安全対策協議会委員名簿 ……………	39 ページ

令和7年度横浜市交通安全対策協議会 交通安全運動等実施報告

令和7年中の横浜市内における人身交通事故は、発生件数 7,240 件（前年比-23 件）、負傷者数 8,140 人（前年比-181 人）で、ともに減少しましたが、交通事故死者数は 42 人（前年比+2）と、依然として多くの尊い命が失われています。

令和8年も引き続き、関係機関・団体の皆様とともに、市民の交通安全意識の向上を目指した運動を効果的に推進してまいります。

1 各季の交通安全運動・強化月間実施結果

(1)春の全国交通安全運動

実施期間	4月6日～4月15日（※交通事故死ゼロを目指す日は4月10日）
重点	・子どもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践 ・歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行 ・自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守 ・二輪車の交通事故防止
主な取組	・イベント開催、駅前や商業施設等での声掛け、啓発物品の配布、広報誌による周知 ・登園、登校時の見守り活動 ・新入学児童に対する交通安全教室を実施

(2)九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間

実施期間	5月1日～5月31日
重点	・自転車交通ルールの遵守とマナーの向上、交通反則通告制度（青切符）の周知 ・自転車点検整備の促進と自転車損害賠償責任保険等の加入義務の周知徹底 ・全ての自転車利用者に対するヘルメット着用努力義務の周知徹底 ・飲酒運転の根絶
主な取組	・イベント開催、駅前や商業施設等での声掛け、啓発物品の配布、SNS等による周知 ・自転車等放置禁止区域を巡回し、放置防止の啓発を実施 ・自転車街頭点検の実施

(3)二輪車交通事故防止強化月間・暴走族追放強化月間

実施期間	6月1日～6月30日
重点	・二輪車の安全利用促進 ・暴走族の追放と加入防止
主な取組	・イベント開催、駅前や商業施設等での声掛け、啓発物品の配布、SNS等による周知 ・警察と連携して街頭での呼びかけを実施

(4)夏の交通事故防止運動

実施期間	7月11日～7月20日
重点	・安全運転意識の向上 ・妨害運転・飲酒運転の根絶 ・こどもや高齢者を始めとする歩行者の安全確保
主な取組	・イベント開催、駅前や商業施設等での声掛け、啓発物品の配布、広報誌による周知 ・夏休み前の児童を対象とした交通安全講話を実施 ・自治会町内会と連携し、夏祭り等での呼びかけを実施

(5)秋の全国交通安全運動

実施期間	9月21日～30日(※交通事故死ゼロを目指す日は9月30日)
重点	・反射材用品等の着用推進や安全な横断方法の実践等による歩行者の交通事故防止 ・夕暮れ時以降の早めのライト点灯やハイビームの活用促進と飲酒運転等の根絶 ・自転車、特定小型原動機付自転車利用時のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底 ・二輪車の交通事故防止
主な取組	・イベント開催、駅前や商業施設等での声掛け、啓発物品の配布、広報誌による周知 ・自動車学校等と連携し、高齢者ドライバーを対象とした講習会を実施

(6)首都圏放置自転車クリーンキャンペーン

実施期間	10月1日～10月31日
重点	・放置自転車の防止 ・交通ルールの遵守と駐車マナーの向上
主な取組	・イベント開催、駅前や商業施設等での声掛け、啓発物品の配布、広報誌による周知 ・駅周辺で、注意・警告札の貼付やパトロール、移動作業を実施 ・自転車街頭点検を実施

(7)年末の交通事故防止運動

実施期間	12月11日～20日
重点	・自転車と特定小型原動機付自転車を含む飲酒運転の根絶 ・反射材等の着用と安全な横断方法の促進等による歩行者の安全の確保 ・夕暮れ時と夜間の交通事故防止 ・二輪車の安全利用促進
主な取組	・イベント開催、駅前や商業施設等での声掛け、啓発物品の配布、広報誌による周知 ・冬休み前の児童を対象とした交通安全講話を実施

※神奈川県下で実施していた飲酒運転根絶月間は令和6年をもって廃止となりましたが、年間を通じて実施する取組と位置付け、警察等と連携して飲酒運転根絶の呼びかけを実施しました。

2 世代別の交通安全啓発

(1) 幼児

※実績は令和7年12月末現在の数値

①幼児交通安全教育訪問指導

幼稚園・認可保育所・横浜保育室を対象に、横浜市交通安全キャラクター(ルール・まもる)を用いて訪問指導を実施しました。

実績	275回、11,946名
----	--------------

②保護者向け交通安全教室

幼稚園・認可保育所・横浜保育室を対象に、園児の保護者を対象とした交通安全教室を実施しました。

実績	5回、125名
----	---------

③チャイルドシート取り付け方教室の実施

地区交通安全協会・交通安全母の会が中心となって、各区両親教室や乳幼児健診等に参加する保護者を対象に実施しました。

実績	31回、1,232名
----	------------

④幼児向け交通安全教育動画やチラシでの啓発

幼稚園・保育所や家庭などで活用いただけるよう、「幼児向け交通安全教育動画」を YouTube で公開しています。また、幼児を自転車に同乗させるとき等の安全上のルールや注意点をまとめたチラシ「まもって！いのちと交通ルール」を区役所の乳幼児健診等で配布しました。



幼児交通安全教育訪問指導



保護者向け交通安全教室



幼児教育動画

▼二次元コードはこちら



横浜市 幼児教育動画

検索

更新!!



保護者向けチラシ

「青切符(交通反則通行制度)や、子どもを自転車に安全に乗せる時の正しい方法等について掲載しました。

(2) 小学生

①子どもの通学路交通安全対策事業

「通学路における子どもの交通事故死ゼロ」を目標として、交通事故データや車両速度データなどを活用・分析し、ハードとソフト両面で交通安全対策に取り組む「子どもの通学路交通安全対策事業」を実施しています。

令和7年度は、交通安全推進校※として、豊岡小学校(鶴見区)、南神大寺小学校(神奈川区)、永田小学校(南区)、港南台第二小学校(港南区)、洋光台第一小学校(磯子区)、洋光台第二小学校(磯子区)、瀬ヶ崎小学校(金沢区)、日吉台小学校(港北区)、千秀小学校(栄区)の9校を選定しました。スクールゾーン対策協議会などで対策内容を説明しながら、ハード・ソフトの両面で交通安全対策を実施しました。

※児童を対象とした交通安全教育、地域や保護者と連携した見守り活動などの交通安全対策を重点的に実施する小学校・義務教育学校

【ハード対策】

ア 交通安全施設の充実

路面表示や防護柵等の交通安全対策に加え、ハンプや狭さくといった物理的デバイスの設置も行いました。



ハンプ



ハンプ



狭さく



路面表示

【ソフト対策】

イ こども・安全安心マップのリリース

市内全域の小学生・中学生の交通事故の発生場所や事故の概要を Google マップで確認できる「こども・交通事故データマップ」は、令和5年3月の公開から、累計 180 万以上(令和7年 12 月時点)の閲覧がされました。

令和6年 7 月には、市民のみならず「通学路の安全を点検するため、防犯情報も掲載してほしい」との要望を受け、こども・交通事故データマップに不審者情報等を加えた「こども・安全安心マップ」をリリースし、累計 100 万以上(令和7年 12 月時点)の閲覧がされました。

市内の全学校をはじめ、地域の方々や保護者の皆様などにも広くご覧いただき、「交通安全対策」と「防犯対策」の両輪で、さまざまな角度からこどもの安全安心を守るための取組を推進していきます。

こども・交通事故データマップ

防犯情報

こども・安全安心マップ



(イメージ図)

引用:Google マップ

ウ 放課後キッズクラブ交通安全教室

下校時間が遅くなり、一人で帰ることも多い児童の交通安全意識を高めるための交通安全教室を、夏休みなどの長期休暇を利用して、交通安全推進校などの放課後キッズクラブにおいて実施し、こども・安全安心マップを活用して通学路のマップを作成する等、こどもたちの自主性を尊重したグループワーク形式で行いました。



実績	25 回、約 900 名
----	--------------

「こども・安全安心マップ」を教室内で活用

②はまっ子交通あんぜん教室

交通安全協会・県警・区役所が連携して実施する「はまっ子交通あんぜん教室」では、道路の安全な歩き方や正しい自転車の乗り方について、衝突・巻き込み・死角実験など実際の危険の疑似体験を交えながら、地域や学校の特性に応じた安全教育を実施しました。



実績	299回、64,224名
----	--------------

③通学路はたふり誘導講習会

児童の誘導等に従事されている保護者等を対象に、はたふり誘導講習会を開催しました。
また、令和7年度から、新たにオンライン形式での講習も実施しました。



実績	3回、223名
----	---------



←二次元コードはこちら

横浜市 通学路のはたふり誘導動画

検索

④スクールゾーン活動の支援

各小学校のスクールゾーン活動が効果的かつ円滑に行えるよう各種冊子を配布しました。



スクールゾーン活動のしおり



通学路はたふり指導ハンドブック



通学路安全点検ハンドブック

⑤小学生向け交通安全動画

小学生への交通安全啓発として、道路の歩き方や、自転車の乗り方などを紹介する交通安全動画を公開しています。(12月末時点:合計約18,000回再生)

動画を通じて親子で交通ルールの確認や、学校での交通安全学習にご利用いただけます。

二次元コードはこちら▶

横浜市 小学生向け交通安全動画

検索



⑥交通安全教育動画「ルールとまもるからのちょうせんじょう」

主に小学1年生となる幼児を対象に、通学路の安全な歩き方を啓発するため、実写映像とアニメーションを組み合わせた啓発動画を公開しています。(12月末時点:約10,000回再生)

この動画は、保護者と子どもと一緒に交通安全について学べる内容となっています。

二次元コードはこちら▶

横浜市 幼児交通安全教育動画

検索



⑦黄色いワッペンの配布

子どもを守る交通安全キャンペーンの一環として、全国の小学校新入学児童を対象に、保護者やドライバーへの「注意喚起」と児童の交通安全意識の高揚を願って昭和40年から富士銀行(現在はみずほフィナンシャルグループとその他3社)が毎年配布を行っているものです。

当初は黄色い腕章、昭和49年から黄色いワッペンに形を変え、平成16年からは株式会社みずほフィナンシャルグループ、損害保険ジャパン株式会社、明治安田生命保険相互会社、第一生命保険株式会社の4社より寄贈いただいています。



(3) 中学生・高校生

①中学生、高校生向け自転車交通安全教室

本市作成の「みんなのサイクルルールブックよこはま」を活用した、自転車交通安全教室を実施しました。

実績	19回、4,841名
----	------------

更新！！



みんなのサイクルルールブックよこはま

自転車のルールを体系的、網羅的にまとめた自転車ルールブック。

新たに「青切符(交通反則通行制度)」に関する内容について掲載しました。

②スケアード・ストレイト方式による自転車交通安全教室

スタントマンが自転車事故を再現することで、交通ルールを遵守することの大切さを体感することができるスケアード・ストレイト方式による交通安全教室を実施しました。

実績	11回
----	-----



交通安全教室の様子:衝突実験

New !!

③自転車に関する改正道路交通法の周知・啓発

各交通安全教室やSNS等において、令和8年4月から16歳以上の自転車運転者にも適用される「青切符(交通反則通行制度)」について、周知しました。

また、令和8年2月から3月にかけて、市立中学3年生へのチラシ配布や、広報よこはまへの掲載、横浜市営地下鉄車内ビジョンでの広告放映、Web広告の掲出など、重点的な広報を行っています。

【青切符(交通反則通行制度)とは】

一定の違反行為をした運転者に対して車やオートバイと同様に、「青切符」による反則告知を行い、各反則行為に定められた反則金の納付を通告するものです。

反則金を納付した場合、その反則(違反)行為に定められた刑事罰を科されることはありません。

(酒酔い運転や妨害運転など、特に悪質な違反は対象外。)



啓発チラシ

New !!

④民間企業との連携による取組

ア パネルディスカッション

横浜商業高校の生徒が企画した「自転車交通ルール」について考えるパネルディスカッション等に、地元プロ野球選手や協力企業・警察署が参画して建設的な議論を展開し、若年層に響く交通安全啓発を令和7年12月に実施しました。



パネルディスカッション

イ 交通安全教室

過去の事故データ分析に基づき、市内の自転車事故が多い区の中学3年生を中心に、民間企業による交通安全教室を令和8年2月から3月に実施します。

(4) 高齢者

①交通安全シルバーリーダー養成研修会

市内の老人クラブや町内会等において、交通ルールやマナーの周知・啓発を率先して行う高齢者交通安全指導者を養成するため、交通安全シルバーリーダー養成研修会を開催しました。



実績	2回、159名
----	---------



啓発チラシ

②シルバー・セーフティスクール

高齢者による交通事故防止を目的としたシルバー・セーフティスクールを実施しました。

実績	18回、784名
----	----------

(5) 一般向け

①自転車乗車時のヘルメット着用の周知・啓発

チラシやポスターを活用し、区役所や各イベント等で広報、啓発を進めるほか、交通安全教室やウェブ広告での周知、民間事業者と連携した広報・啓発等を、県警察とも連携しながら進めています。

令和7年7月に、横浜 DeNA ベイスターズと連携したヘルメット着用を選手が呼びかける広報啓発を市内各所で実施しました。

New !!



啓発動画



啓発チラシ

②思いやり SHARE THE ROAD 運動

自転車とクルマが互いに思いやりを持って車道を共有する意識(SHARE THE ROAD)を啓発する運動を、バスや公用車等へのステッカーの貼付、チラシ、ポスター等により周知を行っています。

令和7年度から、「自転車とクルマが道路をシェアする」、「自転車は道路の左側を走る」といった取組内容がより伝わりやすいデザインに変更しました。



更新 !!



令和7年度 ステッカー新デザイン

③自転車損害賠償責任保険等への加入状況調査

「自転車のルールや保険加入状況」に関するアンケートインターネット調査(ヨコハマ e アンケート)を実施し、892人から回答がありました。

このうち38.2%が自転車を利用しており、自転車保険に加入している人は、自転車利用者の87.7%でした。(令和6年度83.9%)

本アンケート調査の結果を元に、世代別の自転車の安全な利用に関する啓発や、保険等への加入を進めていきます。



啓発ポスター・チラシ

④電動キックボードの安全利用啓発

運転者が知っておくべき交通ルールについてまとめた冊子を区役所で配布しました。

⑤視聴覚教材の貸出し

交通安全教育の効果的な推進を図るため、DVD等の視聴覚教材を、関係機関や企業等への貸出しを行いました。

⑥デジタルサイネージを活用した広報・啓発

市庁舎及び区役所のデジタルサイネージを活用し、交通安全運動・強化月間の周知などを実施しました。

⑦X(旧Twitter)を活用した啓発活動

交通ルールの啓発やイベント情報等を発信しました。

アカウント:横浜市道路局道路政策推進課(@y_kotsuanzen)



←二次元コードはこちら



X 投稿画像の例

3 その他の活動

(1) 特別対策

神奈川県交通安全対策協議会が指定した地域において、地域の実情に応じた交通事故防止対策を推進しました。

① 自転車交通事故多発地域

令和7年度自転車事故多発地域指定(横浜市内)・・・鶴見区、港北区

② 高齢者交通事故多発地域

令和7年度高齢者交通事故多発地域指定(横浜市内)・・・港南区、磯子区、緑区

(2) 踏切の交通事故防止

市内の踏切に対し、安全対策を計画的に進めています。

令和7年度は、城山踏切、法隆寺踏切、金沢八景(逗)第2踏切の踏切安全対策に関する工事を進めました。

また、生見尾踏切では春と秋の全国交通安全運動に合わせて交通管理者と鉄道事業者と共に啓発活動を実施しました。



啓発活動の様子



啓発チラシ

(3) 横浜市交通安全功労者表彰式

本市の交通安全と事故防止に貢献し、その功績の顕著な個人及び団体を横浜市交通安全対策協議会会長(横浜市長)が表彰しました。

① 日時

令和7年 10月24日(金)

② 会場

ロイヤルホールヨコハマ

被表彰者	個人 29 名、団体 17 団体
------	------------------



4 令和7年度交通安全対策事業の各区の取組について

鶴見区

地域のお祭りでの交通安全啓発を実施しました

＼ 大人も子どもも楽しんで学ぶ！交通安全フェスタ ／
警察×安協×区役所がタッグを組み、イベントに出展♪

クイズラリーでは、神奈川県警「スマートチリリンスクール」からの問題が登場！
クイックアームでは、ゲームを通じて俊敏性を測り、案外実年齢より…と
わいわい楽しみながら学んでいただく啓発活動を実施しました。



▲江ヶ崎サマーフェスティバル(7月)▲

クイズラリー



▲しんつる祭り(9月)▲

クイックアーム体験

神奈川区

各季の交通安全運動・月間ではキャンペーンを行いました。期間中は区役所庁舎内でも効果的な交通安全啓発活動を行いました。

キャンペーンでは関係機関・団体と協働してチラシ、啓発物品を配付しながら交通安全を呼び掛けました。



東神奈川駅ペDESTリアンデッキ



二輪車の運転者に対する声掛け



通行人への声掛け



親子三代交通安全教室

区役所の総合案内窓口で来庁者が啓発物品を自由に持ち帰れるようにしたり、デジタルサイネージを用いる等、区民の交通安全意識の高揚を図りました。



デジタルサイネージ



総合案内窓口

西区

親子交通安全教室(夏のバスツアー)を開催

8月30日(土)

藤沢市 いすゞプラザにて

いすゞ自動車(株)ご協力のもと
開催しました

みんなで集合写真!
楽しく交通安全について学
べました

クイズに正解したら
缶バッジが貰え、バッ
クにいっぱい付けら
れました



「横断歩道を渡ると
き、どっちが安全で
しょうか?」



14組の親子が参加し、白
バイのほかパトカーにも
乗車ができ、親子で交通
安全の意識を再確認しま
した



白バイにも乗れま
した



中区

広報よこはま なか区版 令和8年1月号に
「自転車の違反にも青切符が導入！」を掲載
して啓発を行いました。

地域と連携して交通安全教室を開催し、
自転車のルールを体験しました。

4月1日から! **自転車の違反にも青切符が導入!** 新しい自転車のルールなどについては、神奈川県版「自転車ルールブック」を確認してください!

自転車の交通違反にも、自転車と同様に「交通反則適合制度(いわゆる青切符)」が導入されます。車両の運転者としての自覚と責任をもって、今まで以上にルールをしっかり守りましょう!

新車電話の使用等(別府)	反則金 12,000円	信号無視	反則金 6,000円	一時不停止	反則金 5,000円	並進	反則金 3,000円
--------------	-------------	------	------------	-------	------------	----	------------

自転車ルールブック

ダウンロードはこちらがおすすめ



広報よこはま なか区版に「交通安全
こどもポスターコンクール」金賞作品
を掲載し、交通安全を啓発しました。

今日もまた
あなたの無事故
待つ家族

▲1-2年生部門
本牧南小学校 1年
矢野 莉子さん

▲3-4年生部門
本町小学校 4年
中村 心海さん

▲5-6年生部門
本牧南小学校 5年
井上 穂乃花さん



南区



南区交通安全区民総ぐるみ大会

交通死亡事故0を目指して南区交通安全区民総ぐるみ大会を開催しました。県警音楽隊の演奏や南交通安全母の会の南区音頭踊りとともに、交通安全の推進を皆で誓いました。

春の全国交通安全運動

お笑い芸人の野田クリスタルさんが一日警察署長となり、たくさんの園児へ交通安全教室を実施した後、ふるさと大使をつとめる弘明寺かんのん通り商店街を練り歩き、交通安全を呼びかけました。



港南区



交通事故の被害に遭いやすい
子ども・高齢者に対する交通安全事業を推進しました！！



「小学校での交通安全新規事業」
児童自ら交通安全について考える
“みんなの83交通安全ラボ”
を実施しました！

車の死角体験



低学年の視野体験



児童自らが考えた交通安全について発表

高齢者交通安全教室・交通安全フェスタを開催



保土ケ谷区

《ほどがや安全・安心教室の開催》

要望のあった自治会に出向き、警察官の協力を得て交通安全講話を行っております。令和7年度は計7自治会(常盤台西、岩間町、狩場町東部、常盤台住吉、保土ケ谷グリーンタウン、法泉境木、常盤台東部)に出向き交通安全講話を行いました。(2月に2自治会で実施予定)



《旗振り講習会の開催》

各学校のスクールゾーン対策協議会からの要望を受け、保土ケ谷区スクールゾーン活動説明会の中で「旗振り講習会」を開催しました。道路局道路政策推進課担当課長が講師となり、誘導横断旗の正しい使用方法や、各誘導場面における具体的な解説を行いました。また、実際のはたふり誘導について、実演を交えながら参加者の皆さまに実践していただきました。

旭区

■春の全国交通安全運動・特殊詐欺撲滅キャンペーン(令和7年4月5日 旭公会堂)



映画『ゴジラ-1.0』や『キングダムシリーズ』等に出演された『田中美央』さんを一日警察署長にお迎えし、交通事故防止と特殊詐欺への注意喚起を呼びかけました。

当日は『田中美央』さん出演作品や怪獣についてのトークショーや神奈川県警音楽隊の演奏とともになじみの曲を参加者と歌うなど、会場は大いに盛り上がりました。



■未就学児童の交通安全教室 全4回

(令和7年10月27日 柏町グラウンド)

次年度区内小学校に入学予定の児童を対象とした、交通安全教室が一般財団法人旭交通安全協会主催で行われました。当日は、神奈川県警教育隊の安全講話を聞いた後、正しい横断歩道の渡り方を実践する等、安全意識を高める学びの場となりました。



磯子区

区内のイベントなど様々な機会を捉えて、交通事故防止を呼びかけました！！

《自転車マナー啓発》

資源循環局磯子事務所の協力のもと収集車に啓発マグネットシートを掲示しました。



《交通安全ブース出展》

日清オイリオ横浜磯子春まつりに交通安全ブースを出展しました。(アクティブ交番やミニ白バイの試乗、クイックアームに挑戦など)



《交通安全七夕祈願》

大きな笹に地元の園児たちと願い事を書いた短冊を飾り付けました。



《どこでもお出かけ区役所講座》

年間を通し、区内の園にて横断歩道の渡り方等交通事故防止についての幼児交通安全教室を開催しました。

金沢区



金沢区内の各世代を対象に各種交通安全教室を開催し、区内の交通事故防止に取り組みました。

5月31日に区内の小学生を対象に自転車マナーアップ小学生大会を開催し、子どもたちの自転車マナーの向上を目指しました



11月12日に区内在住のシニアの方を対象にシルバードライビングスクールを開催し、実際に乗車してご自身の運転技術の確認などをさせていただきました



9月26日に区内在住の方を対象に自転車マナー講習会を開催し、反射材の効果などについて体験していただきました



港北区

●ランドセルカバー贈呈式

マリノスケから新入学児童の代表者にランドセルカバーを贈呈し、交通安全を呼びかけました。



反射材がついたランドセルカバー

●港北区安全・安心のつどい

慶応義塾大学落語研究会の「交通安全・防犯落語」やフレイル予防体操（港北MMダンス）を実施しました。



緑区

各期交通安全運動・強化月間における啓発キャンペーンを実施



▲夏の交通事故防止運動(十日市場駅周辺)



▲秋の全国交通安全運動(区内大型商業施設)



▲年末の交通事故防止運動(長津田駅周辺)

警察署や交通安全協会、
シルバーリーダーの方々と
連携して、交通事故減少
に向けた
啓発活動を実施しました。



青葉区

令和7年度青葉区小学生「交通安全ポスターコンクール」を開催しました！

交通安全にかかわることをテーマに募集し、221 作品もの応募がありました。

主催・共催・協賛団体の代表者に審査していただき、21 作品が入賞。12 月 25 日に青葉区役所で表彰式を行いました。入賞作品をまとめたポスターは区内地区センターやケアプラザ等に掲示し、交通安全の啓発活動に活用しました。



<入賞作品をまとめたポスター>



<青葉区役所1階展示スペース>

都筑区

各季の交通安全運動に合わせ街頭キャンペーンや防犯メール等を活用した啓発活動を実施。区内大型商業施設での館内放送による呼びかけも行っています。

《春の全国交通安全運動キャンペーン》

一日警察署長としてプロレスラーの青木選手を迎え、パレード実施

《秋の全国交通安全運動キャンペーン》

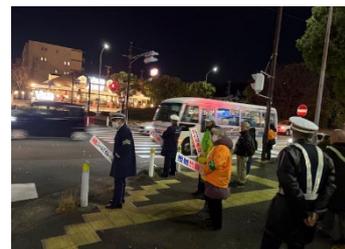
一日警察署長として自衛隊の大谷本部長を迎え、県警音楽隊先導によるパレード実施



<区民まつりや老人福祉センターでの交通安全啓発活動>



<年末の夜間監視>



戸塚区

交通安全キャンペーン

戸塚駅や西武東戸塚 S.C. で各季交通安全のキャンペーンを行いました。区内小学生が考えた標語を掲載した啓発物品を配布しました。交通安全協会や交通安全母の会など、地域の関係団体から約 60 名が集まり、交通安全を呼びかけながら啓発物品やチラシを配布しました。



年末の交通安全キャンペーンでは、「ゆずりあい」を合言葉に「柚子」を配布しました。



栄区

今年度もいろいろな場を利用して交通安全啓発活動を行いました!!



広報よこはま 4 月号特集記事掲載



文字看板の掲出



キャンペーンの SNS 投稿



自転車の無料点検



イベント時に親子で交通安全クイズ

泉区

交通安全キャンペーン

泉区交通安全対策協議会の関係団体と共に、区内の主要駅で各季交通安全の呼びかけを行いました。12月はクリスマスツリーやサンタさん、泉区マスコットキャラクターの「いっずん」が登場し、盛り上がりました！



令和7年度泉区交通安全スローガンコンクール最優秀賞作品
 しまうまみたいなおうだんぼう、きりんみたいにてをのぼそう。

泉区マスコット
 キャラクター
 いっずん

交通安全スローガンコンクール

児童が自ら交通安全について考えるきっかけ作りを目的に、H19年度から実施しており、R7年度は4,025点の応募がありました。最優秀賞は中田小1年生が受賞しました！また、入賞作品の展示を区役所1階区民ホールで行いました。



瀬谷区

各季の交通安全キャンペーンや交通安全教室などを実施！

交通安全ポスターコンクール

夏休み期間を活用し、区内小中学生の皆さんに交通安全啓発ポスターの募集を行いました。428作品の応募があり、24作品が入賞しました。

入賞者の皆さんには瀬谷公会堂にて賞状を授与し、入賞作品で交通安全啓発カレンダーを作成しました。



<公会堂 表彰式の様子>



<交通安全啓発カレンダー>

交通安全キャンペーン

瀬谷区交通安全対策協議会の関係団体とともに、瀬谷駅などで各季の交通安全の呼びかけを行いました。

春は新入学児童の交通安全教室、秋は県警察音楽隊とカラーガードなど、多くの方が足を止め啓発物品を受け取っていただきました。



<春>

<秋>

委員の皆様よりお寄せいただいた 取組事例のご紹介

- 1 鶴見交通安全協会 様
- 2 戸部交通安全協会 様
- 3 栄交通安全協会 様
- 4 一般社団法人神奈川県トラック協会 様
- 5 一般社団法人神奈川県自動車販売店協会 様
(神奈川県自動車ディーラー交通安全対策推進協議会 様)
- 6 一般財団法人横浜市交通安全協会 様



横浜市交通安全キャラクター
ルール まもる

ご協力ありがとうございました！

1 鶴見交通安全協会 様

交通安全活動の状況は、「春、夏、秋、年末」と各期ごとに実施しております。

各強化月間は、自転車に対してヘルメット着用促進キャンペーンの実施、二輪車安全運転講習、年末には、飲酒運転根絶運動として岸谷地区交差点においてドライバーを対象に飲酒運転大根絶のチラシ付き大根の配布を行いました。



ハンドルキーパー運動としては、京急鶴見駅周辺の飲食店にミニのぼり旗を配布し、飲酒運転根絶の意識徹底を図りました。

年間を通じて取り組んだ活動としては、小学生対象の「はまっ子交通安全教室 22 校」はもとより、高齢者対象の交通安全講話、高齢者宅の訪問活動、地区町内会、商店街のお祭り及び各団体の実施するイベントなど積極的に参加して自転車、二輪車に対する啓発活動、交通事故防止教室を実施しました。



はまっ子交通安全教室 22 校以外の取組

- 1 ヘルメット着用促進キャンペーン 5月13日
- 2 江ヶ崎町内会サマーフェスティバル 7月19日
- 3 しんつる祭り 9月28日
- 4 あさひまつり 11月8日
- 5 仲通りマルシェ 11月9日
- 6 鶴見法人会トレジャーハンティング 11月30日
- 7 岸谷地区飲酒運転大根絶キャンペーン 12月5日
- 8 飲酒運転防止ハンドルキーパー運動 12月8日

2 戸部交通安全協会 様

《団体・企業とのコラボ》



酒販協会との飲酒運転根絶キャンペーン



県トラック協会様・日産自動車様からの
新入学児童への祝い品贈呈式



いすゞ自動車様との親子バスツアー



乗車体験



交通安全〇×クイズ

《小学校交通安全教室:戸部署管内10校》



自転車点検『ブタはしゃべる』



自転車実車訓練



巻込み実験

《地域での活動》



西区民まつり



クリスマスイベントでの
体験コーナー



地域まもり隊総会での
交通安全講話

3 栄交通安全協会 様

① はまっ子交通安全教室(令和7年実績:栄区内小学校13校 参加児童 2717名)

栄区内の小学生を対象に、栄警察署と連携し、交通安全教室を開催しています。

低学年:歩道の歩き方 中学年:正しい自転車の乗り方 高学年:死角、内輪差、急制動について



② 飲酒運転大根絶キャンペーン(令和7年実績:年1回 配布数 150本)

ドライバーを対象に、飲酒運転大根絶のチラシ付きの大根を配布し、交通安全を呼び掛けています。

また、近隣飲食店にミニのぼり旗を配布し、ハンドルキーパーを呼び掛けています。



③ 交通安全ミニ凧キャンペーン (令和7年実績:年1回 配布数 200枚)

一人でも多くの方に交通安全標語を読んでもらえるように、交通安全標語を記載した手作りのミニ凧を配布し、交通安全を呼び掛けています。



- ④ 交通事故死ゼロを目指す日キャンペーン（令和7年実績：年2回 配布数 50 個）
道路脇で、プレートを使用し、運転者への交通安全を呼び掛けています。



4 一般社団法人神奈川県トラック協会 様

●交通安全こどもショー

9月28日(日)、神奈川県立音楽堂にて、トラック輸送への理解と関心を地域社会に深め、交通安全の思想普及を目的に「トラックの日」イベントとして交通安全こどもショーが開催され、1,106名の来場がありました。

プログラム

- ・12時30分：開場&受付開始
- ・13時30分：開演&主催者・来賓のご挨拶
- ・13時45分：ドラえもんショー
- ・14時20分：交通安全教室
- ・14時40分：休憩(15分間)
- ・14時55分：警察音楽隊
- ・15時20分：サイエンスショー(キャラメルマシーン)
- ・16時00分：閉会式&花束・ぬいぐるみの贈呈

<ホワイエでの催し物>

●デザインコンテスト

全42点の絵画作品を展示。神奈川県知事賞1点、最優秀賞2点、優秀賞9点、佳作30点

●はたらくトラック総選挙パネル

はたらくトラック総選挙のキャンペーン告知用にA0サイズのパネルを展示。

●ワークショップ

反射材付きのお守り作成とチョコQレースのワークショップを実施。

(当日入口・ロビーワークショップの様子)

●受付



●ワークショップ



(トラックデザインコンテスト作品・パネル展示)

● デザインコンテストの作品展示



● はたらくトラック総選挙のパネル展示



5 一般社団法人神奈川県自動車販売店協会 様

(神奈川県自動車ディーラー交通安全対策推進協議会 様)

1 街頭啓発活動

春と秋の全国交通安全運動を中心に、市内所轄警察署等と連携しながら街頭啓発活動に参加、オリジナル啓発品を配布しました。

- ・春の全国交通安全運動 15地区 157人
- ・夏の交通事故防止運動 5地区 24人
- ・秋の全国交通安全運動 17地区143人
- ・年末の交通事故防止運動 6地区 17人



2 ラジオ日本 交通安全キャンペーンに協賛

ラジオ番組に出演し活動を紹介するとともに、春の全国交通安全運動期間中に20回のショートメッセージを放送しました。



3 園児等向け交通安全教室

昨年度より開始した取組みで、3園に対して実施し、オリジナル啓発品をプレゼントしました。



6 一般財団法人横浜市交通安全協会 様

1 協会公式Xでの交通安全広報実施

交通事故実態に即した交通事故防止のワンポイントアドバイス等について情報発信を行いました。



2 横浜市自転車交通安全教室の実施

横浜市が指定した中学校の生徒を対象とし、自転車利用者の事故責任、自転車の通行場所、ながら運転の危険性等を学ぶ自転車交通安全教室を開催しました。



3 交通安全キャンペーンの実施

地区交通安全協会等と連携し、各季の運動等における交通安全キャンペーンを実施しました。
※駅前や自転車駐車場付近にて実施



4 企業・団体向け交通安全講話の実施

協会賛助会員企業・団体に対する交通安全講話を実施しました。



5 認知機能検査の実施

神奈川県公安委員会の認定機関として、75歳以上の高齢運転者を対象とした検査と高齢運転者に対する交通事故防止講義を実施しました。

令和8年度横浜市交通安全運動実施計画

1 趣旨

令和7年中の横浜市内における人身交通事故は、発生件数 7,240 件(前年比-23 件)、負傷者数 8,140 人(前年比-181 人)で、ともに減少しましたが、交通事故死者数は 42 人(前年比+2)と増加し、依然として多くの尊い命が失われています。

令和8年も引き続き、関係機関・団体の皆様とともに、市民の交通安全意識の向上を目指した運動を効果的に推進してまいります。

2 年間スローガン

「安全は 心と時間の ゆとりから」

3 重点事項

- 横断歩道における歩行者優先の徹底
- こども及び高齢者の交通事故防止
- 歩行者及び自転車の交通事故防止
- 二輪車の交通事故防止
- 飲酒運転の根絶



横浜市交通安全キャラクター
ルール まもる

4 活動推進

- 夕暮れ時の前照灯の早め点灯と走行用前照灯(ハイビーム)の効果的活用
- 全ての自転車利用者に対するヘルメット着用努力義務の徹底及び自転車利用者の家族等が、自転車利用者に対して乗車用ヘルメットの着用を促すことの周知徹底
- 違法駐車及び放置自転車・バイクの追放
- 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 特定小型原動機付自転車やペダル付き電動バイクなどの小型モビリティに対する法令遵守の徹底
- 踏切道における交通事故防止
- 暴走族の追放
- 障がい者(特に視覚障がい者)の交通事故防止

5 年間運動

(1) 各季の運動 (※上記重点事項、活動推進を網羅して包括的に取り組む交通安全運動です。)

名称	実施期間	備考
春の全国交通安全運動	4月6日~15日	別に実施要綱を定めます。
交通事故死ゼロを目指す日	4月10日	
夏の交通事故防止運動	7月11日~20日	
秋の全国交通安全運動	9月21日~30日	
交通事故死ゼロを目指す日	9月30日	
年末の交通事故防止運動	12月11日~20日	

(2) 強化月間 (※重点事項、活動推進のうち、期間中特に強化して行う運動です。)

名称	実施期間	備考
九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間	5月1日～31日	別に実施要綱を定めます。
二輪車交通事故防止強化月間 暴走族追放強化月間	6月1日～30日	
首都圏放置自転車クリーンキャンペーン	10月1日～31日	

(3) 年間を通じて実施する取組(各季交通安全運動や強化月間にかかわらず、年間で実施する取組)

ア こどもと高齢者の交通事故防止

- 幼稚園・認可保育所・横浜保育室を対象とした、横浜市幼児交通安全教育指導員による幼児交通安全教育の推進
- はまっ子交通あんぜん教室等、児童を対象とした交通安全教育の推進
- チャイルドシート着用の推進
- 高齢者交通安全教育の推進
- 交通安全シルバーリーダーの養成・活動の推進

イ 自転車・二輪車の交通事故防止

- 小・中・高校生を対象とした交通安全教室の開催
- リーフレット、世代・対象者別の啓発チラシの配布
- 自転車とクルマの互いの思いやりを啓発する「思いやり SHARE THE ROAD 運動」の実施
- 自転車等を放置しないように呼び掛ける運動の推進
- 体験型の交通安全教室であるスケアード・ストレイト方式交通安全教室の開催
- 自転車点検整備と自転車損害賠償責任保険等加入の促進
- 自転車の乗車用ヘルメット着用の促進
- 二輪車の乗り方に関する啓発及び二輪車講習会の開催

ウ その他

- 飲酒運転根絶に向けた啓発の推進
- 電動キックボードの安全利用に関する周知・啓発
- 視覚に障がいがある方など体の不自由な方に対する思いやりに関する周知・啓発
- 視聴覚教材の貸出し
- ウェブサイトを活用した広報・啓発
- SNS(X等)、動画等を活用した啓発

6 横浜市交通安全対策協議会の会議等日程

名称	開催時期	内容等
交通安全功労者表彰式	令和8年 10月下旬(予定)	多年にわたり本市の交通安全と交通事故防止に貢献し、その功績が顕著な個人及び団体を表彰します。
総会	令和9年 2月(予定)	【協議事項】 ・令和8年度交通安全運動実施結果について ・令和9年度交通安全運動実施計画(案)について

◆ 各種交通安全啓発チラシ配布等について

自転車を安全で快適に利用するために知っておきたい交通ルール等をまとめた「みんなのサイクルルールブックよこはま」や、世代・対象者別の啓発チラシ等を作成し、配布しています。

ルールブックや啓発チラシは、市ウェブサイト(交通安全 横浜市で検索)からダウンロードして自由にお使いいただけます。また、交通安全動画(YouTube)も公開していますので是非ご覧ください。



(みんなのサイクルルールブック)



(啓発ポスター・チラシ)

◆交通安全動画



(小学生向け交通安全動画)



(ルールとまもるからのちょうせんじょう)

◆ 視聴覚教材等の貸出しについて

横浜市道路局では、視聴覚教材(DVD)及びパペットの貸出しを行っておりますので、交通安全教育に是非ご活用ください。詳細は、市ウェブサイトをご参照ください。

受付方法 電話にて受け付けています。 ☎045(671)2323

対象 横浜市内の団体(保育所、幼稚園、事業所、自治会町内会、老人クラブ、その他公共団体等)

視聴覚教材(DVD)



パペット



自治会・町内会

○横浜市町内会連合会

○各区連合町内会

交通安全協会、団体等

○(一財)横浜市交通安全協会

○各地区交通安全協会

○横浜市交通安全母の会連合会

○各地区安全運転管理者会

女性・青少年団体

○横浜市女性団体連絡協議会

○横浜市青年団体連絡協議会

○横浜市青少年指導員連絡協議会

○横浜市スポーツ推進委員連絡協議会

○ボーイスカウト横浜市連合会

○ガールスカウト横浜市連絡協議会

○横浜海洋少年団

○横浜市健民少年団

○横浜市子ども会連絡協議会

自動車等関連団体

○神奈川県二輪車普及安全協会

○(一社)神奈川県指定自動車教習所協会

○(一社)神奈川県自動車会議所

○神奈川県タクシー協会

○(一社)神奈川県バス協会

○神奈川県トラック協会

○神奈川県自動車整備振興会

○神奈川県自動車販売店協会

○神奈川県軽自動車協会

○神奈川県自転車商協同組合

○横浜個人タクシー協同組合

○神奈川県個人タクシー協同組合

○日本自動車連盟神奈川支部

○赤帽首都圏軽自動車運送協同組合神奈川支部

商工関係

○横浜商工会議所

○(一社)横浜青年会議所

○横浜市商店街総連合会

司法、保護機関・団体

○神奈川県弁護士会

○横浜市人権擁護委員会

医師会等

○横浜市医師会

○横浜市病院協会

労働組合

○日本労働組合総連合会神奈川県連合会

○日本労働組合総連合会神奈川県連合会横浜地域連合

教育関係機関・団体

○横浜市立高等学校長会

○横浜市立中学校長会

○横浜市立小学校長会

○横浜市私立中学高等学校長協会

○横浜市幼稚園協会

○横浜市PTA連絡協議会

○横浜市学校保健会

鉄道関係

○東日本旅客鉄道(株)横浜保線設備技術センター

○東日本旅客鉄道(株)横浜駅

○東京急行電鉄(株)鉄道事業本部運輸計画部

○京浜急行電鉄(株)鉄道本部施設部

○相模鉄道(株)施設部

○横浜高速鉄道(株)運輸部

報道関係

○日本放送協会横浜放送局

○アール・エフ・ラジオ日本

○テレビ神奈川

○神奈川新聞社

○毎日新聞社横浜支局

○読売新聞社横浜支局

○朝日新聞社横浜総局

○産業経済新聞社横浜総局

○東京新聞横浜支局

○日本経済新聞社横浜支局

○共同通信社横浜支局

○時事通信社横浜総局

道路管理者

○国土交通省横浜国道事務所

○中日本高速道路(株)東京支社

○東日本高速道路(株)関東支社

○首都高速道路(株)神奈川局

その他関係団体

○(公財)横浜市老人クラブ連合会

○(福)横浜市社会福祉協議会

○横浜市民生委員児童委員協議会

○横浜ライオンズクラブ

官公庁

○関東運輸局神奈川運輸支局

○神奈川県

○神奈川県警察

○横浜市

(順不同)

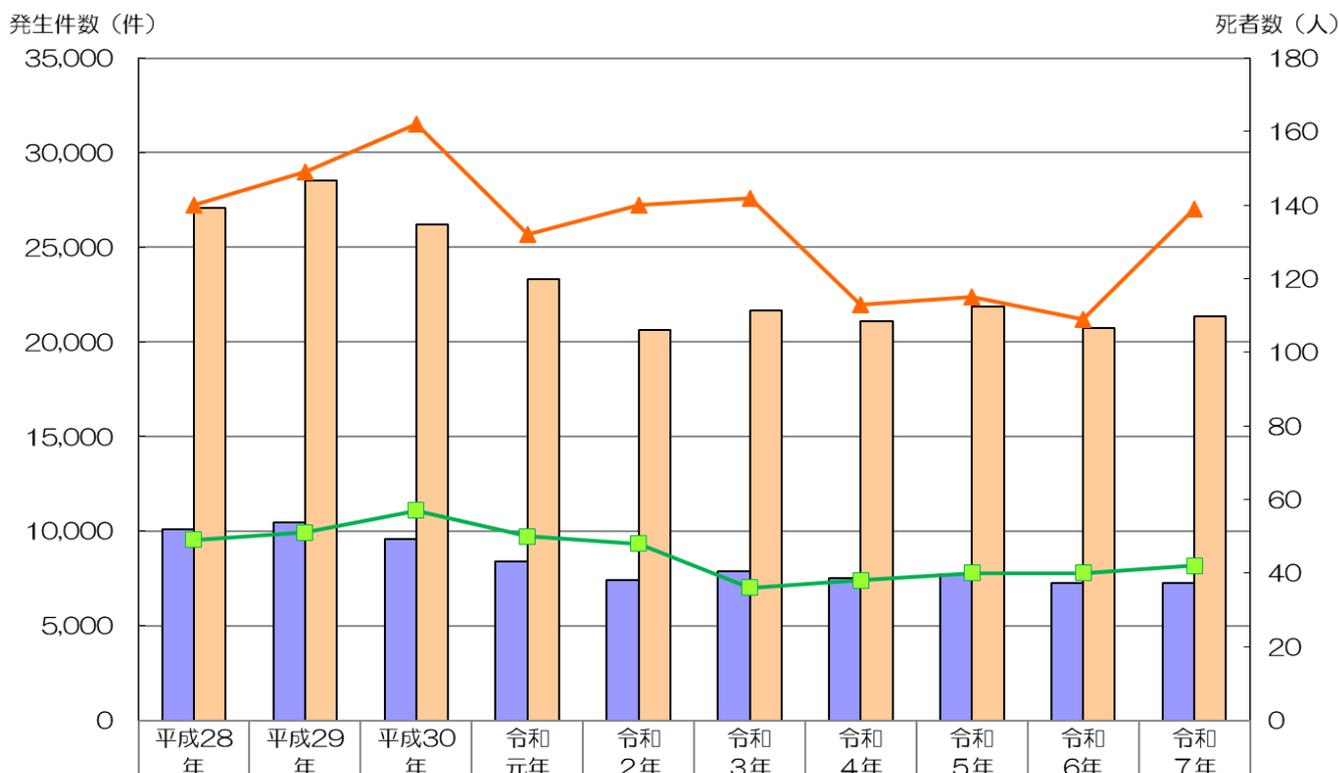
横浜市交通安全対策協議会
(事務局)横浜市道路局道路政策推進課 電話045(671)2323

資料1 横浜市における交通事故の状況等

1 交通事故の状況

		件数 (件)			死者数 (人)			負傷者数 (人)		
		前年比	増減率(%)		前年比	増減率(%)		前年比	増減率(%)	
令和3年	横浜市	7,883	+485	+6.6	36	-12	-25.0	8,997	+529	+6.2
	神奈川県	21,660	+1,030	+5.0	142	+2	+1.4	25,062	+1,158	+4.8
	全国	305,196	-3,982	-1.3	2,636	-203	-7.2	362,131	-7,345	-2.0
令和4年	横浜市	7,492	-391	-5.0	38	+2	+5.6	8,483	-514	-5.7
	神奈川県	21,098	-562	-2.6	113	-29	-20.4	24,382	-680	-2.7
	全国	300,839	-4,357	-1.4	2,610	-26	-1.0	356,601	-5,530	-1.5
令和5年	横浜市	7,703	+211	+2.8	40	+2	+5.3	8,909	+426	+5.0
	神奈川県	21,870	+772	+3.7	115	+2	+1.8	25,644	+1,262	+5.2
	全国	307,930	+7,091	+2.4	2,678	+68	+2.6	365,595	+8,994	+2.5
令和6年	横浜市	7,263	-440	-5.7	40	±0	±0.0	8,321	-588	-6.6
	神奈川県	20,750	-1,120	-5.1	109	-6	-5.2	24,123	-1,521	-5.9
	全国	290,792	-17,138	-5.6	2,663	-15	-0.6	343,756	-21,839	-6.0
令和7年	横浜市	7,240	-23	-0.3	42	+2	+5.0	8,140	-181	-2.2
	神奈川県	21,324	+574	+2.8	139	+30	+27.5	24,463	+340	+1.4
	全国	287,023	-3,769	-1.3	2,547	-116	-4.4	338,508	-5,248	-1.5

2 県内事故との比較



市内発生件数 (件)	10,081	10,441	9,596	8,398	7,398	7,883	7,492	7,703	7,263	7,240
県内発生件数 (件)	27,091	28,540	26,212	23,294	20,630	21,660	21,098	21,870	20,750	21,324
市内死者数 (人)	49	51	57	50	48	36	38	40	40	42
県内死者数 (人)	140	149	162	132	140	142	113	115	109	139

3 区別交通事故の発生状況

	件数 (件)	死者数 (人)	負傷者数 (人)
鶴見区	490	3	547
神奈川区	404	1	443
西区	254	2	289
中区	403	5	449
南区	408	1	450
港南区	299	2	328
保土ヶ谷区	369	4	424
旭区	521	2	585
磯子区	267	3	293
金沢区	393	2	445
港北区	568	1	639
緑区	495	4	554
青葉区	616	2	718
都筑区	418	4	484
戸塚区	579	2	651
栄区	152	2	170
泉区	367	1	403
瀬谷区	237	1	268
合計	7,240	42	8,140

4 区別各種事故の発生件数

	子ども				高齢者	歩行者	自転車	二輪車	飲酒運転	速度超過
	幼児・園児	小学生	中学生							
鶴見区	27	6	16	5	161	111	137	143	4	8
神奈川区	23	3	13	7	133	90	91	152	3	6
西区	15	7	6	2	76	68	40	72	4	11
中区	22	6	8	8	157	112	104	92	3	14
南区	25	4	13	8	133	106	92	152	4	5
港南区	25	3	15	7	131	78	68	88	0	6
保土ヶ谷区	19	8	7	4	119	90	41	141	3	9
旭区	35	10	15	10	165	112	81	199	1	12
磯子区	22	3	14	5	94	62	60	87	1	2
金沢区	27	2	17	8	163	73	106	156	1	15
港北区	43	13	21	9	170	126	153	183	4	10
緑区	38	7	23	8	174	119	113	151	2	9
青葉区	56	10	34	12	220	152	140	149	2	9
都筑区	45	10	21	14	114	77	92	121	1	12
戸塚区	29	2	19	8	188	109	97	202	5	16
栄区	12	2	3	7	58	30	38	49	0	5
泉区	23	2	14	7	149	72	92	120	4	5
瀬谷区	15	1	7	7	90	40	68	67	0	6
横浜市内	501	99	266	136	2,495	1,627	1,613	2,324	42	160
県内	1,560	331	805	424	7,294	4,092	5,477	6,003	131	621

自転車の発生件数は、自転車が1当又は2当となった事故の件数をいいます。
(その他の発生件数は、3当以下を含む件数。)

横浜市交通安全対策協議会会則

(名 称)

第1条 この会は、横浜市交通安全対策協議会(以下「協議会」という。)という。

(目 的)

第2条 協議会は、市内における交通事故の状況をふまえ、交通の安全と円滑の確保に関し、関係行政機関及び団体の密接な連携のもとに、総合的かつ効果的な対策を強力に推進することを目的とする。

(協議事項)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事項を協議する。

- (1) 各種交通安全運動の推進に関すること
- (2) 交通安全意識の高揚及び交通安全教育の推進に関すること
- (3) 道路交通環境の整備改善に関すること
- (4) 関係組織及び団体に関する交通安全施策の推進に関すること
- (5) その他交通安全の推進に関すること

(組 織)

第4条 協議会は、関係行政機関及び団体の代表者からなる委員をもって組織し、会長1名、副会長若干名を置く。

(会長及び副会長)

第5条 会長は、横浜市長をもってあてる。

- 2 会長は、会務を総理し、本会を代表する。
- 3 副会長は、横浜市副市長及び横浜市交通安全協会会長をもってあてる。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名したものが、その職務を代行する。

(顧 問)

第6条 協議会に、顧問若干名を置くことができる。

- 2 顧問は、会長が委嘱し、会長の諮問に応じて協議会に対し助言を行うものとする。

(部 会)

第7条 協議会に、交通安全部会（以下、「部会」という。）を置き、次に掲げる事項を分掌するほか、会長が特に必要と認めたときは特別部会を置くことができる。

- (1) 交通安全のための広報活動、教育、指導に関する事項
- (2) 児童の交通事故防止に関する事項
- (3) 道路等の施設並びに交通安全施設の整備改善等に関する事項

2 部会は、委員のうちから会長が指名した部会長、副部会長及び部会員をもって組織する。

3 部会長は、必要と認める場合は、その事務の一部を、幹事会に委任することができる。

(部会長及び副部会長)

第8条 部会長は、部会の事務を掌理し、部会を代表する。

2 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときはその職務を代行する。

(会 議)

第9条 協議会の会議は、総会及び部会とする。

2 総会は会長が招集し、その議長となる。

3 部会は部会長が招集し、その議長となる。

(意見聴取)

第10条 会長及び部会長は、必要と認めたときは、交通問題に関し学識経験のある者に対し、総会または部会に出席を求め、その意見を聞くことができる。

(幹 事 会)

第11条 協議会の運営を円滑にするため、部会ごとに幹事会を置く。

2 幹事会は、関係機関・団体及び市職員のうちから会長が指名する幹事をもって組織する。

3 幹事会は、その属する部会の分掌事項につき調査、研究並びに連絡調整を行うほか、部会長から委任された事務を行うものとする。

4 幹事会は、部会長が招集し、第13条に定める事務局長がその議長となる。

(会議結果)

第12条 総会及び部会において協議決定した事項について、委員及び幹事は、積極的実現を図るものとする。

(事務局)

第13条 協議会の事務局を横浜市道路局道路政策推進部道路政策推進課に置く。

2 事務局長は、横浜市道路局道路政策推進部長をもってあてる。

(補則)

第14条 この会則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

(附則)

この会則は、昭和43年2月20日から施行する。

(附則)

この会則は、平成18年4月1日から施行する。

(附則)

この会則は、平成19年7月5日から施行する。

(附則)

この会則は、平成28年4月1日から施行する。

(附則)

この会則は、令和6年4月1日から施行する。

横浜市交通安全対策協議会委員名簿

令和8年3月10日現在

会長	
所属団体の役職名	氏 名
横浜市長	山中 竹春

副会長	
所属団体の役職名	氏 名
横浜市 副市長	鈴木 和宏
(一財)横浜市交通安全協会 会長	板橋 悟

顧問	
所属団体の役職名	氏 名
神奈川県警察本部長	今村 剛

監事	
所属団体の役職名	氏 名
横浜市 保土ヶ谷区長	神部 浩
横浜商工会議所 理事・事務局次長・総務部長	高崎 真二

委員	
所属団体の役職名	氏 名
横浜市 政策経営局長	松浦 淳
横浜市 市民局長	渋谷 昭子
横浜市 こども青少年局長	福嶋 誠也
横浜市 健康福祉局長	佐藤 泰輔
横浜市 都市整備局長	鈴木 和宏
横浜市 道路局 道路政策担当理事	栗本 高史
横浜市 消防局長	佐々木 功喜

委員	
所属団体の役職名	氏 名
横浜市 交通局長	三村 庄一
横浜市 教育長	下田 康晴
横浜市 鶴見区長	渋谷 治雄
横浜市 神奈川区長	鈴木 茂久
横浜市 西区長	菊地 健次
横浜市 中区長	永井 由香
横浜市 南区長	高澤 和義

委員	
所属団体の役職名	氏 名
横浜市 港南区長	栗原 敏也
横浜市 保土ヶ谷区長	神部 浩
横浜市 旭区長	権藤 由紀子
横浜市 磯子区長	高橋 功
横浜市 金沢区長	齋藤 真美奈
横浜市 港北区長	竹下 幸紀
横浜市 緑区長	佐藤 康博
横浜市 青葉区長	中島 隆雄
横浜市 都筑区長	佐々田 賢一
横浜市 戸塚区長	近藤 武
横浜市 栄区長	松永 朋美
横浜市 泉区長	山口 賢
横浜市 瀬谷区長	山岸 秀之
横浜市立高等学校長会 会長	大山 仁彦
横浜市立中学校長会 会長	小林 哲郎
横浜市立小学校長会 会長	角井 治朗
国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所長	宮本 久仁彦
関東運輸局神奈川運輸支局 首席陸運技術専門官	加藤 雄介
東日本高速道路(株) 関東支社 京浜管理事務所長	飯干 貴彰
中日本高速道路(株) 東京支社長	荒井 靖博
首都高速道路(株) 神奈川局長	木下 治昭
東日本旅客鉄道(株)横浜保線設 備技術センター所長	江南 和彦
東日本旅客鉄道(株) 横浜駅長	大野 武一

委員	
所属団体の役職名	氏 名
神奈川県 くらし安全防災局長	三浦 昌弘
神奈川県警察本部 交通部長	加藤 雅道
神奈川県警察本部 交通部理事官	柴崎 政美
横浜市町内会連合会 会長	吉井 肇
鶴見区自治連合会 会長	宮野 昌夫
神奈川区連合町内会 自治会連絡協議会会長	岐部 文明
西区連合町内会・自治会 連絡協議会会長	平野 周二
中区連合町内会長 連絡協議会会長	松澤 秀夫
南区連合町内会長 連絡協議会会長	吉井 肇
港南区連合町内会長 連絡協議会会長	古屋 文雄
保土ヶ谷区連合町内会長 連絡会会長	金子 久夫
旭区連合自治会町内会 連絡協議会会長	林 重克
磯子区連合町内会長会 会長	須田 幸雄
金沢区町内会連合会 会長	岩崎 建一郎
港北区連合町内会 会長	青 博孝
緑区連合自治会長会 会長	臼井 孝一
青葉区連合自治会長会 会長	久保田 実
都筑区連合町内会 自治会会長	吉野 富雄
戸塚区連合町内会 自治会連絡会会長	菊池 賢児
栄区連合町内会会長	細田 利明
泉区連合自治会 町内会長会会長	上原 敏博
瀬谷区連合町内会 自治会連絡協議会会長	高岩 敏和

委員	
所属団体の役職名	氏 名
鶴見交通安全協会会長	大野 慶太
(一財)神奈川交通安全協会会長	小松 範昭
戸部交通安全協会会長	三石 孝司
加賀町交通安全協会会長	西條 敏一
山手交通安全協会会長	馬場 正治
伊勢佐木交通安全協会会長	増尾 誠一
横浜水上交通安全協会会長	藤木 幸吉
(一社)南交通安全協会会長	長谷川 史浩
港南交通安全協会会長	内倉 忠勇
保土ヶ谷交通安全協会会長	板橋 悟
(一財)旭交通安全協会会長	小磯 守
磯子交通安全協会会長	室井 烈
金沢交通安全協会会長	服部 次男
(一財)港北交通安全協会代表理事	嶋村 公
緑交通安全協会会長	鈴木 正雄
青葉交通安全協会会長	倉本 澄夫
都筑交通安全協会会長	加藤 恒雄
戸塚交通安全協会会長	川邊 重男
栄交通安全協会会長	森 克巳
(一社)泉交通安全協会会長	石井 喜代志
瀬谷交通安全協会会長	相澤 暁三
横浜市交通安全母の会連合会会長	五反田 佐千子

委員	
所属団体の役職名	氏 名
鶴見安全運転管理者会会長	山谷 朋彦
神奈川安全運転管理者会会長	船尾 淳一
戸部安全運転管理者会会長	山口 喜久雄
加賀町安全運転管理者会会長	山口 和昭
山手安全運転管理者会会長	高橋 史武
伊勢佐木安全運転管理者会会長	笠間 裕
横浜水上安全運転管理者会会長	執行 茂
南安全運転管理者会会長	落合 裕介
港南安全運転管理者会会長	江塚 潔
保土ヶ谷安全運転管理者会会長	工藤 樹
旭安全運転管理者会会長	岩下 幸男
磯子安全運転管理者会会長	佐野 慶春
金沢安全運転管理者会会長	前田 治明
港北安全運転管理者会会長	安齊 博仁
緑安全運転管理者会会長	川島 健
青葉安全運転管理者会会長	飯田 敬
都筑安全運転管理者会会長	佐藤 昌彦
戸塚安全運転管理者会会長	大場 吉彦
栄安全運転管理者会会長	佐々木 克巳
泉安全運転管理者会会長	岡田 英之
瀬谷安全運転管理者会会長	柳沼 芳光

委員	
所属団体の役職名	氏 名
横浜商工会議所 理事・事務局次長・総務部長	高崎 真二
横浜市私立中学高等 学校長協会会長	葛 蔵造
横浜市幼稚園協会 副会長	久米 真浩
横浜市PTA連絡協議会 会長	松本 雅威
横浜市学校保健会会長	戸塚 武和
横浜市女性団体 連絡協議会会長	松井 佑子
横浜市青年団体 連絡協議会会長	浅井 正美
横浜市青少年指導員連絡協 議会副会長(栄区会長)	伊藤 元秀
横浜市スポーツ推進委員 連絡協議会会長	栗田 優
ボーイスカウト 横浜市連合会会長	宮崎 弘一
ガールスカウト 横浜市連絡協議会会長	野本 千恵子
横浜海洋少年団副団長	新岡 十三夫
横浜市健民少年団団長	魚地 昌彦
横浜市 子ども会連絡協議会会長	松本 豊
(公財)横浜市老人クラブ連合 会 前理事長(前副理事長)	日向 邦夫
(福)横浜市社会福祉協議会 会長	石内 亮
横浜市民生委員 児童委員協議会会長	石井 マサ子
横浜ライオンズクラブ会長	鈴木 軌士
(一社)横浜青年会議所 理事長	佐藤 直樹
横浜市商店街総連合会 会長	石川 清貴
横浜市医師会会長	戸塚 武和
横浜市病院協会会長	松井 住仁

委員	
所属団体の役職名	氏 名
神奈川県弁護士会会長	畑中 隆爾
横浜市 人権擁護委員会会長	高橋 潤
日本労働組合総連合会 神奈川県連合会執行委員	梅谷 英昭
日本労働組合総連合会 神奈川県連合会横浜地域連合副議 長	柴田 康光
神奈川県二輪車普及安全 協会会長	宮本 義信
(一社)神奈川県指定自動車 教習所協会会長	鈴木 康仁
(一社)神奈川県自動車会議所 会長	吉田 修一
神奈川県タクシー協会会長	伊藤 宏
(一社)神奈川県バス協会会長	野村 正人
(一社)神奈川県トラック協会会 長	吉田 修一
(一社)神奈川県自動車整備 振興会会長	印出 和憲
(一社)神奈川県自動車 販売店協会会長	高木 恵一
神奈川県軽自動車協会会長	田中 章泰
神奈川県自転車商 協同組合理事長	三浦 茂雄
横浜個人タクシー 協同組合理事長	門谷 真人
神奈川個人タクシー 協同組合理事長	安部 廣行
(一社)日本自動車連盟 神奈川支部長	高木 恵一
赤帽首都圏軽自動車運送協同組合 神奈川県支部支部長	遠藤 文男
東急電鉄(株) 広報・マーケティング部 沿線企画課長	梶谷 俊夫
京浜急行電鉄(株) 鉄道本部施設部長	富岡 勇人
相模鉄道(株) 施設部長	川島 陽二郎
横浜高速鉄道(株) 取締役運輸部長	関 高

委員	
所属団体の役職名	氏 名
日本放送協会 横浜放送局長	高柳 由美子
アール・エフ・ラジオ日本 業 務推進局長	穂積 武信
神奈川新聞社 取締役編集担当	吉田 勝行
毎日新聞社 横浜支局長	坂口 裕彦
読売新聞社 横浜支局長	中川 誠
朝日新聞社 横浜総局長	石田 勲
産業経済新聞社 横浜総局長	松本 浩史
東京新聞 横浜支局長	杉戸 祐子
日本経済新聞社 横浜支局長	高橋 祐司
共同通信社 横浜支局長	木下 貴史
時事通信社 横浜総局長	小松 将之
テレビ神奈川 取締役 報道・編成担当	嶋田 充郎



横浜市交通安全対策協議会事務局
横浜市道路局道路政策推進部道路政策推進課
電話 045-671-2323